

ブラジル大統領選は決選投票へ

ポイント① 極右・左派候補が1、2位

10月7日、ブラジルで総選挙（大統領、国会、州知事、州議会の選挙）が行なわれました。大統領選挙では、極右の社会自由党のボルソナロ下院議員が最も多い票を獲得しました。しかし、過半数の票には届かなかったため、2位になった左派の労働党のアダジ元サンパウロ市長と10月28日の決選投票に臨むことになりました。

ブラジルでは大統領の汚職疑惑が相次ぎ、治安に対する不安があることなどから、汚職撲滅や治安改善に強いリーダーシップを求める声が強まったことが、ボルソナロ氏の支持につながった模様です。一方、左派や貧困層の間では汚職の罪で収監中のル元大統領の人氣が強く、その後継者としてアダジ氏が支持を集めました。ブラジルのトランプと称されるボルソナロ氏の極端な言動に反発する声は強く、中道派候補を支持した票のかなりが決選投票ではアダジ氏に流れ、接戦になるとの見方もあります。

ポイント② 利上げの姿勢を示すブラジル中央銀行

ボルソナロ氏はテメル現大統領が進めてきた社会保障改革などの財政再建を継続する姿勢を示しています。その点ではボルソナロ氏が1回目の投票で過半数に近い票を集めたことは、市場にある程度の安心感をもたらしたようです。

ブラジル中央銀行は9月19日の政策決定会合では金融政策の変更を見送りましたが、今後インフレ期待が高まった場合には段階的に利上げを行なうとしました。ブラジル・レアルは米国の段階的利上げや大統領選に対する不透明感などから4月頃から米ドルに対して大きく下落しましたが、こうしたブラジル中銀の姿勢を市場は評価し、足元ではブラジル・レアルが値を戻しています。

ポイント③ 景気、物価は安定的

足元でブラジルの景気は緩やかに回復しており、インフレ率はブラジル・レアル安にもかかわらず、これまでのところ比較的安定しています。消費者物価の前年同月比上昇率は6月に上昇した後、9月まで4%台で推移しています。ボルソナロ氏が決選投票に勝利した場合、少なくとも短期的にはブラジル経済に対する不透明感が弱まることで期待されます。

重要
イベント

10月28日	ブラジル大統領選挙決選投票
10月30日	ブラジル失業率（9月）
10月31日	ブラジル金融政策発表

図1：ブラジル大統領選の各候補の得票率

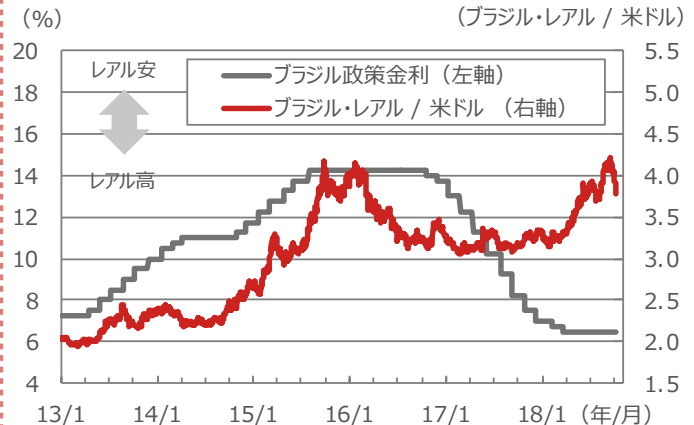
候補者名	党派	得票率
ジャイル・ボルソナロ	社会自由党（極右）	46.0%
フェルナンド・アダジ	労働党（左派）	29.3%
シロ・ゴメス	民主労働党（中道左派）	12.5%
ジェラルド・アルキミン	社会民主党（中道）	4.8%
その他		7.5%

（注）開票率99%時点

（出所）新聞報道等より野村アセットマネジメント作成

図2：ブラジル・レアル為替相場とブラジル政策金利

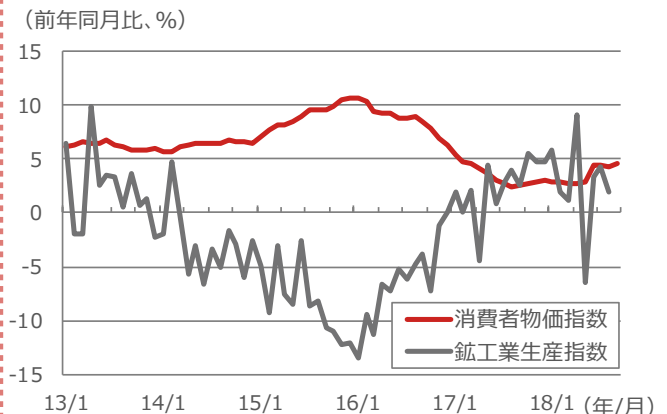
期間：2013年1月1日～2018年10月8日、日次



（出所）Bloombergより野村アセットマネジメント作成

図3：ブラジルの消費者物価指数と鉱工業生産指数

期間：2013年1月～2018年9月、月次



（注）鉱工業生産指数は2018年8月まで

（出所）Bloombergより野村アセットマネジメント作成